



# 支援の手を「あつめて」「むすぶ」 ～子ども・子育てを支えるプラットフォーム～

NPO法人せたがや子育てネット 代表理事  
NPO法人子育てひろば全国連絡協議会 理事  
松田妙子

# 松田妙子 自己紹介

★渋谷区育ち。工務店を営む母方の祖父母と同居。  
民生委員だった祖母の「まちのよろず相談」の現場を  
見て育つ。**身近な場でのよろず相談。**

★福祉学科で学ぶ。

**「大人も子どもも放課後が大事！」**

★こどもの城で「人と関わって遊ぶ」部署で働く。

**「地域で一緒に育つ・一緒に育てる」**

★1998年夫の転勤先の三重県津市で  
第1子5ヶ月の時、ママの部室「赤ちゃんサロン」開催。  
「あいま通信」発行。**当事者主体の活動の化学反応**

★2001年世田谷で産後家庭にアウトリーチ(家事援助)と、無認可保育園の一室で常設の居場所開始。  
県レベルの自治体のため、一つの団体・場所だけではダメ！**ネットワークが必要！**と考える。

★ベビーカーマーク、授乳室マークなどに関わる  
**「ミクロとマクロをつなぐ、メゾ」「アドボケート」**



# 2020年NPO法人せたがや子育てネット 主な実施事業



## ● 区民版子ども子育て会議



## ● 地域子育て支援コーディネーター (利用者支援基本型子育て世代包括支援センター)

身近な場所で  
予防的な  
相談事業・資源開発  
中間支援センター  
烏山・玉川



## ● おでかけひろば【4カ所】 (地域子育て支援拠点事業)

区内団体と実践交流・ネットワークを構築しつつ運営

ぶりっじ@roka

(南烏山)

まーぶる (瀬田)

すぷーん (深沢)

おりーぶ (奥沢)



## ● せたがやこどもフードパントリー

2020年4月14日からの2021年10月26日までに89日間228回の活動を通じてのべ17000食以上を提供。



## ● 赤ちゃんをつれて学校へ行こう！

区立中学校3年家庭科、都立高校定時制へ地域の1歳までの赤ちゃんとその家族と共に訪問

「ティーンエイジャーに赤ちゃんを抱っこする体験をプレゼント」



## ● 産前産後のセルフケア講座

対象：妊婦と産後5か月未満の産婦

内容：赤ちゃんの抱っこ、ストレッチ等の講習あわせて地域の情報を提供し、身近な場所での相談につなぐ

児童館へのアウトリーチ



## ● 地域共生社会にむけての 多分野との連携・中間支援

- \* 生活サポートNPO等協議会
- \* せたがや防災NPOアクション
- \* 外あそびプロジェクト・せたがや

## ● 情報提供

- \* メルマガ耳寄り情報
- \* 多胎児むけメルマガ
- \* LINE@等各種SNS
- \* FMせたがや情報提供番組

## ● 人材育成

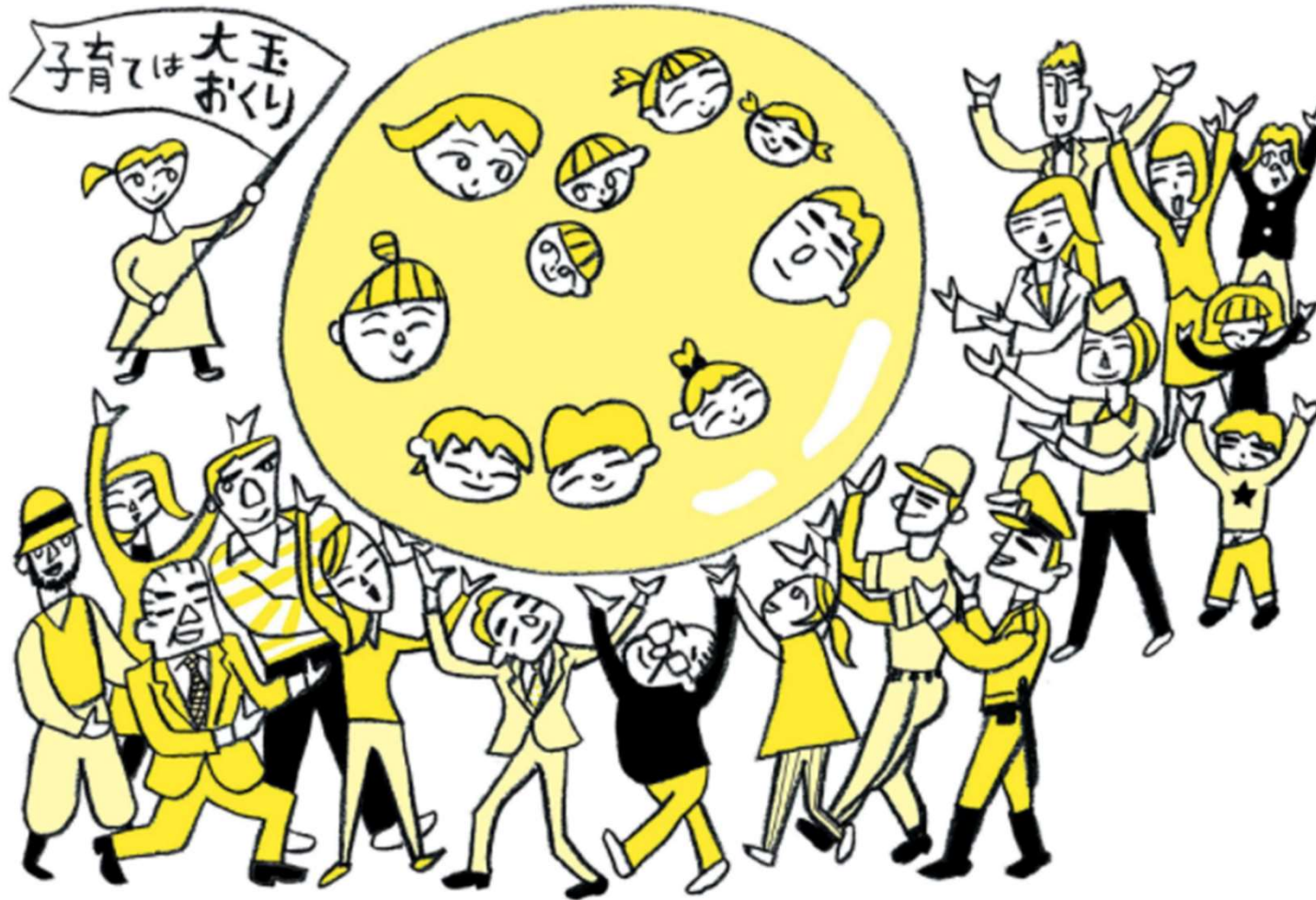
- \* ファミリーサポートセンターアドバイザー研修
- \* フォスタリング機関 里親研修
- \* 世田谷区一時預かり補助
- \* 保育サポーター養成

## ● スポーツ財団主催講座託児

「いまある支援」と「広く深い予防」をもっと！

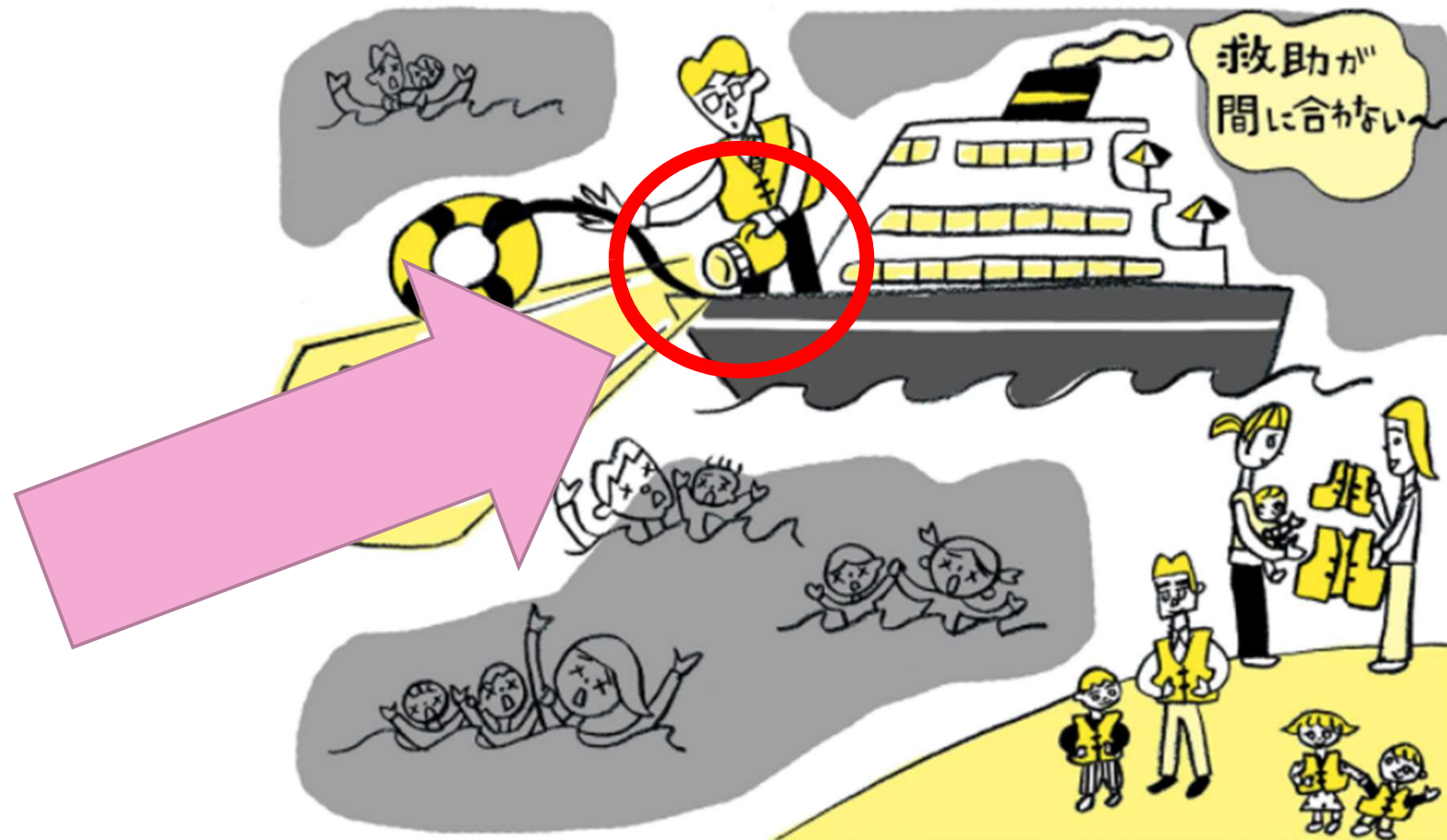


「地域を基盤とした子育て」をもっと！



# 「いまある支援」と「広く深い予防」をもっと！

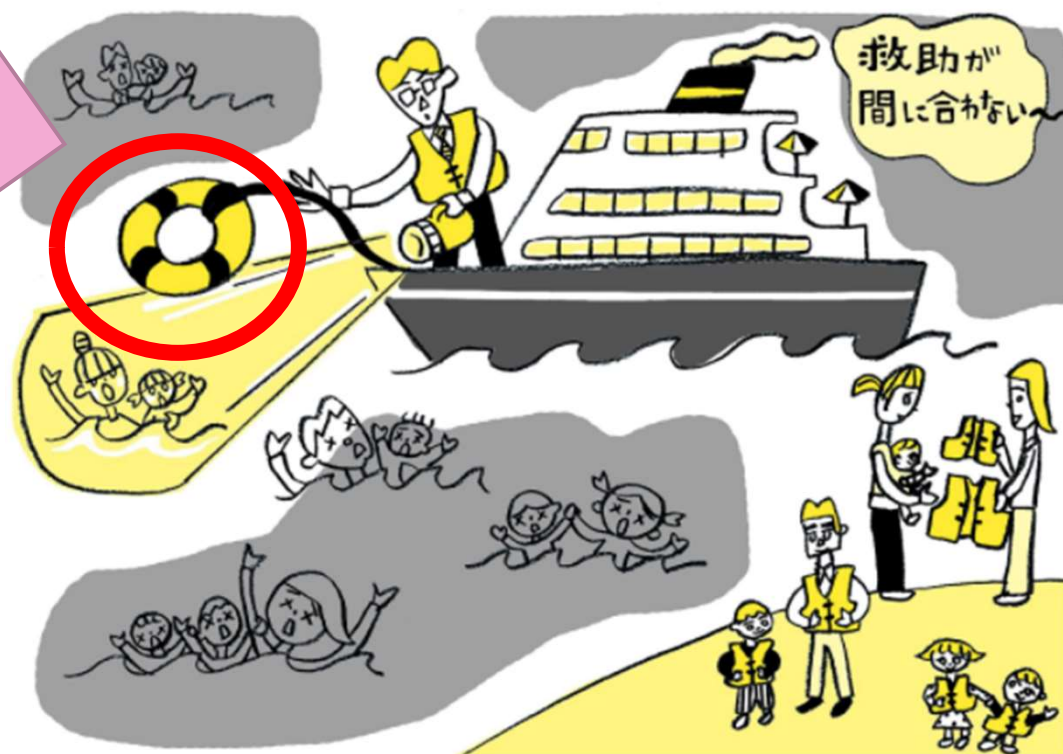
困った人がたまたまたみつかって、なんとかつながっている状況。ライト（財源）が弱いとみつけられない。見えてない姿は、なかったことにされやすい。



# 「いまある支援」と「広く深い予防」をもっと！

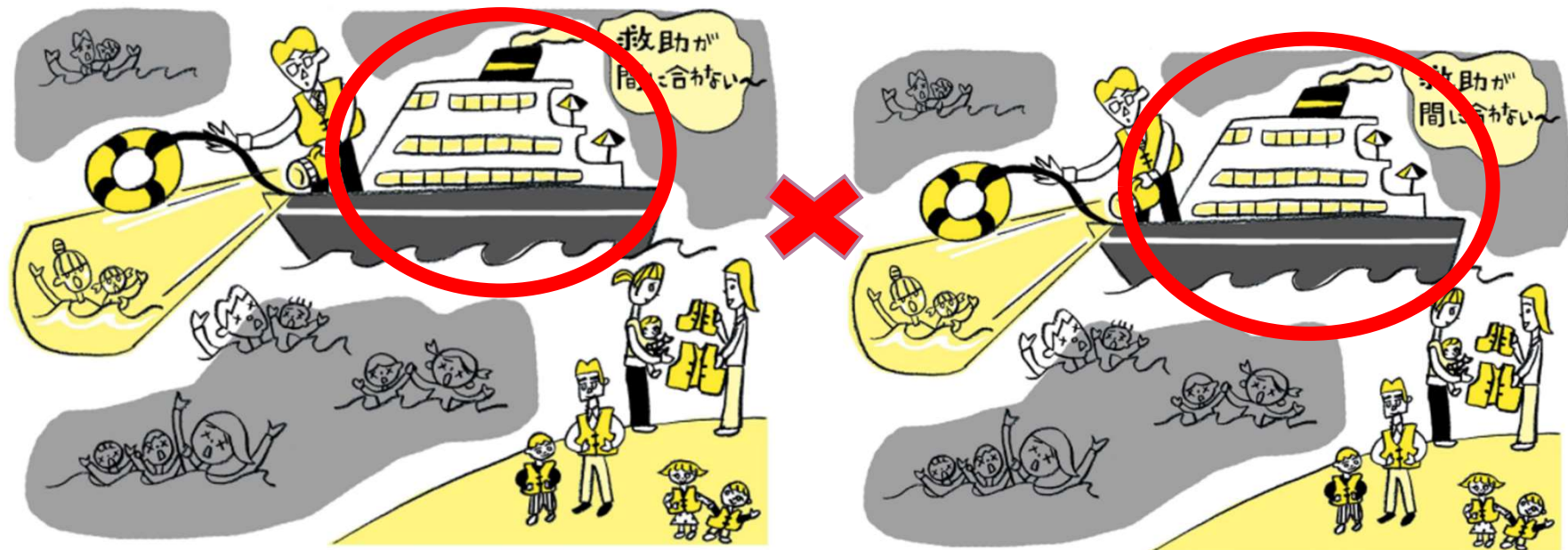
自治体の子ども・子育て支援事業計画調整計画とニーズ調査が大切。どうしたらいいのかは国の支援、後押しが受けられる。（←国の体制も強化が必要）どこに住んでいるかで違いすぎる格差を無くしていく。

我がまちにどんな浮き輪（サービスやプログラム）が必要か。地域の状況を良く理解して少しでもニーズがあったら用意する。ぴったりのものがなければ工夫してつくる。



# 「いまある支援」と「広く深い予防」をもっと！

中学校区ほどのエリア感で顔の見える関係がつかれる場。  
豪華客船じゃなくていい。ワンストップよりも多職種連携。  
遠くの1カ所よりも、近くのどこに出会っても、必要などこかに  
つながるネットワーク。  
受け皿がないと予防的にできない。重層的支援体制のために  
まずは子ども・子育て支援分野の強化が必要。  
エリア同士の連携、ネットワーク





# 「いまある支援」と「広く深い予防」をもっと！

気になる、ほっとけない！  
と具体的に関わって動いて  
くれる人がたくさん必要  
その人の支援のまなざしを  
鍛え、背骨を支える研修

持続可能にしていくために、  
身近な地域で公的な仕組み  
の業務を担う人  
⇒自助共助はもう限界デス



「いまある支援」と「広く深い予防」をもっと！



困ってから  
救命浮き輪を  
投げる社会ではなく  
**すべての**の人に  
ライフジャケット  
が配られている  
安心の社会

子どもがいきいきわくわく育つまち=子どもが権利の主体

⇒こどもコミッショナー制度・こどもオンブズ

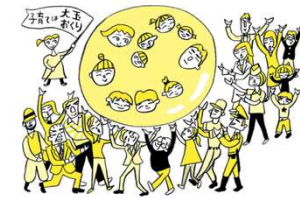
身近な地域での日常的な寄り添いと惜しみないサポート

⇒すべての3歳未満の家庭に対する**予防型現物給付**

あなたがそのままの姿でいられる場所

支援の受け手も支え手になれる場所。「自分にも役割がある」

# 「地域みんなで子育て」をもっと！



## 子ども子育て支援事業

|                                 |                                 |                                |
|---------------------------------|---------------------------------|--------------------------------|
| 【一時預かり】<br>約521万人日<br>(令和元年度実績) | 【ショートステイ】<br>約9万人日<br>(令和元年度実績) | 【養育支援訪問】<br>約18万件<br>(令和元年度実績) |
|---------------------------------|---------------------------------|--------------------------------|



要支援児童、要保護児童(保護等除く)1人あたりでは…

|                      |                   |
|----------------------|-------------------|
| 【ショートステイ】<br>約0.5日/年 | 【養育支援訪問】<br>約1件/年 |
|----------------------|-------------------|

未就園児1人あたりでは…

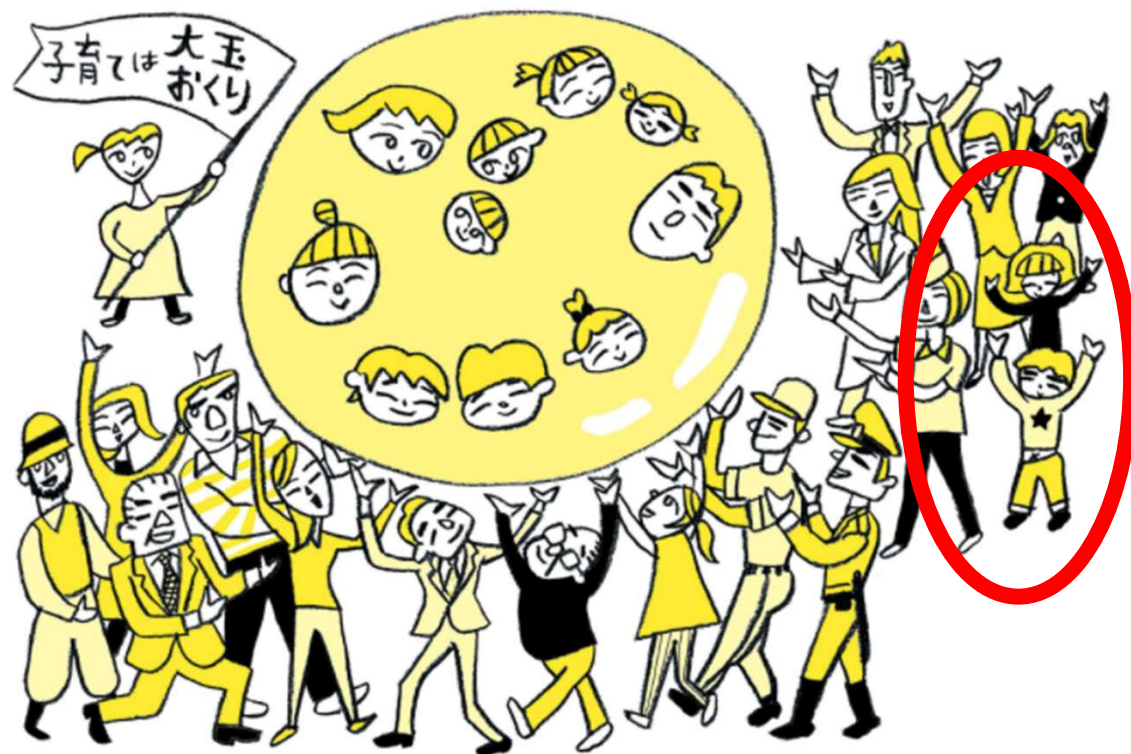
|                  |                       |                     |
|------------------|-----------------------|---------------------|
| 【一時預かり】<br>約3日/年 | 【ショートステイ】<br>約0.05日/年 | 【養育支援訪問】<br>約0.1件/年 |
|------------------|-----------------------|---------------------|

未就園児の家庭に具体的な支援がまだまだ届いていない。

基礎自治体が「地域の実情にあわせた支援」を構築するためには地域のステイクホルダーと対話の中で計画をつくる必要がある。

第27回社会保障審議会児童部  
会社会的養育専門委員会資料  
より

# 「地域を基盤とした子育て」をもっと！



「川をきれいにしたかったら、僕らを川で遊ばせて。そうしたら、きっと、大人はごみを捨てないと思うよ」

2010~2011年  
東京都次世代育成支援  
後期行動計画ヒアリング  
調査より

もっともっと子ども・若者を  
ステークホルダーとして尊重し、  
子どもたちがまちづくりをしていく社会に！！  
大人は何をすべきなの？

# 「地域みんなで子育て」をもっと！

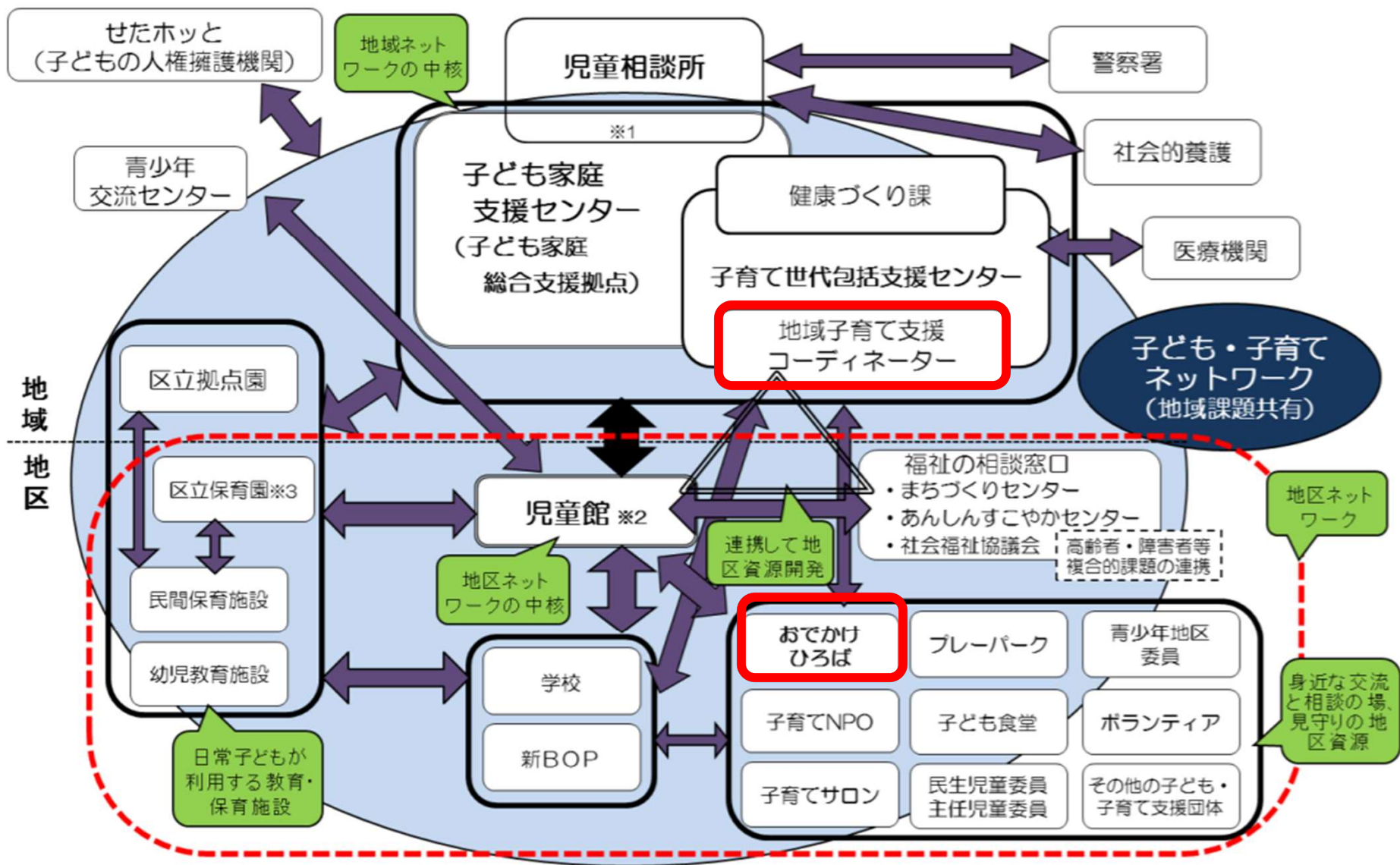


そもそも  
「地域」って誰のこと？  
それぞれに地域観が違う  
から対話からはじめたい

「見張り」から「見守り」へ

「プロテクト要因」が  
「リスク要因」を上回ってれば、  
総合的にレジリエンスは高まります。  
2019年山縣文治先生  
<https://news.yahoo.co.jp/feature/1235/>

## ■ 子ども・子育てにかかる相談支援・見守りのネットワーク図 ■



世田谷区第2期子ども計画素案より

# 区民版子ども子育て会議

計画策定と並行して市民の対話の場をつくろう

始まって  
から6年



- 手弁当ではじめる。(数人からでも、いつからでも)
- 参加者に「ここにいたらいいなという人を連れてきてね」と頼む
- 対等な立場で、要望の場ではないことを確認。  
「切れ目ない支援」「外遊び」「働き方」等テーマを設定し、官民まじえてもいあがる！
- 終わると必ず懇親会  
→政策にも反映されました。  
→パートナーシップの醸成

私たちにも  
役割がある！

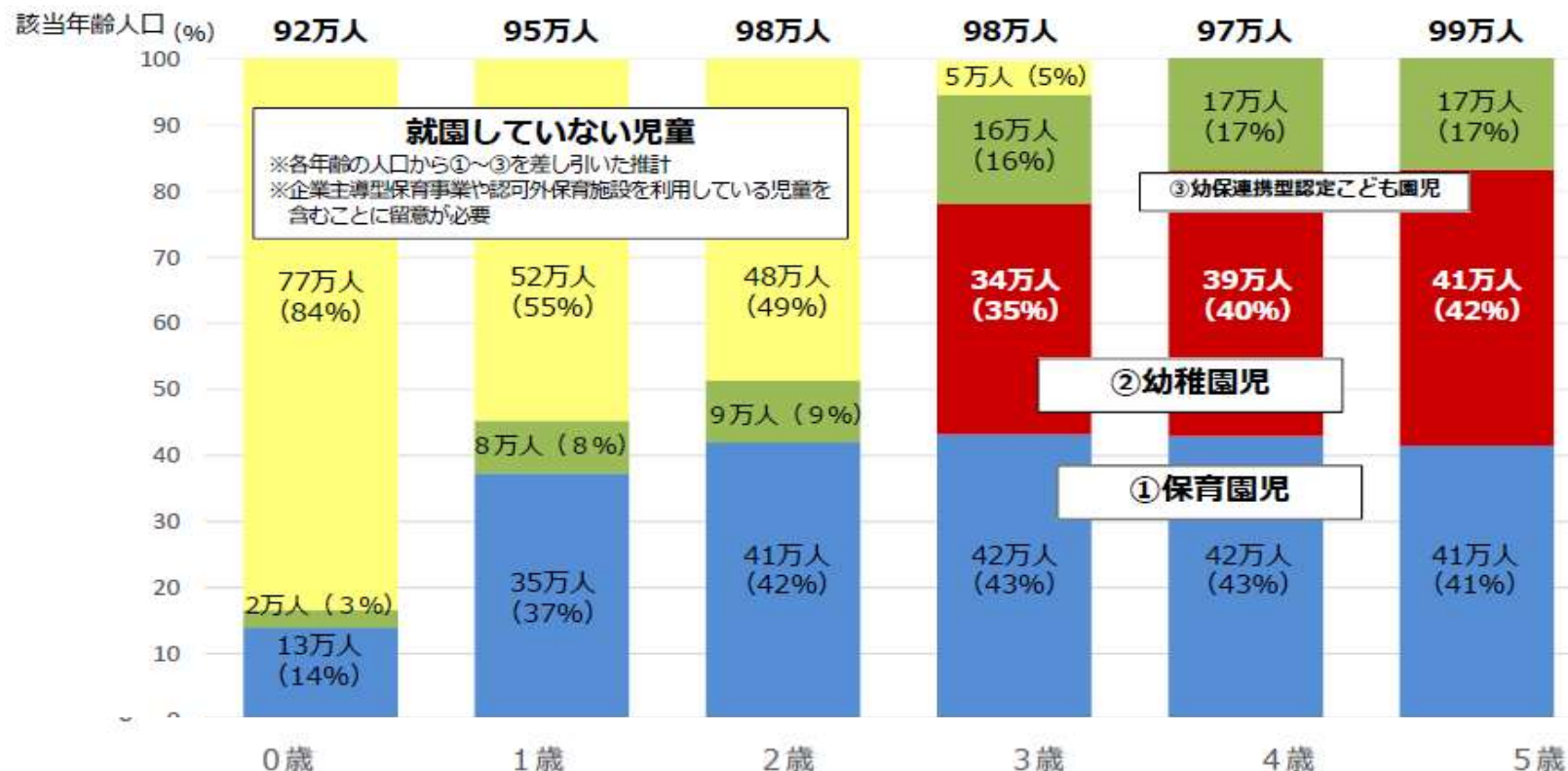


# 保育園と幼稚園の年齢別利用者数及び割合

- ◆0～3歳児の保育園の利用者数と利用割合は、年齢が上がるにつれて上昇している。
- ◆幼稚園児をあわせると、4・5歳児では、ほぼ全ての児童が保育園か幼稚園を利用している。

保育園・幼稚園等の年齢別利用者数及び割合（令和元年度）

令和3年4月23日  
社会的養育専門委員会資料  
より数値等を更新



※該当年齢人口は総務省統計局による人口推計年報（令和元年10月1日現在）より。なお、各年齢の数値は、人口推計年報における当該年齢と当該年齢より1歳上の年齢の数値を合計し、2で除して算出したもの。  
 ※幼保連携型認定こども園の数値は令和元年度「認定こども園に関する状況調査」（平成31年4月1日現在）より。  
 ※「幼稚園」には特別支援学校幼稚部、幼稚園型認定こども園も含む。数値は令和元年度「学校基本調査」（確定値、令和元年年5月1日現在）より。  
 ※保育園の数値は令和元年の「待機児童数調査」（平成31年4月1日現在）より。なお、「保育園」には地方裁量型認定こども園、保育所型認定こども園、特定地域型保育事業も含む。4歳と5歳の数値については、「待機児童数調査」の4歳以上の数値を「社会福祉施設等調査」（平成30年10月1日現在）の年齢別の保育所、保育所型認定こども園、地域型保育事業所の利用者数比により按分したもの。  
 ※「推計未就園児数」は、該当年齢人口から幼稚園在園者数、保育園在園者数及び、幼保連携型認定こども園在園者数を差し引いて推計したものである。このため、企業主導型保育事業や認可外保育施設を利用する児童をきむ。  
 ※四捨五入の関係により、合計が合わない場合がある。

厚労省資料より



概要版

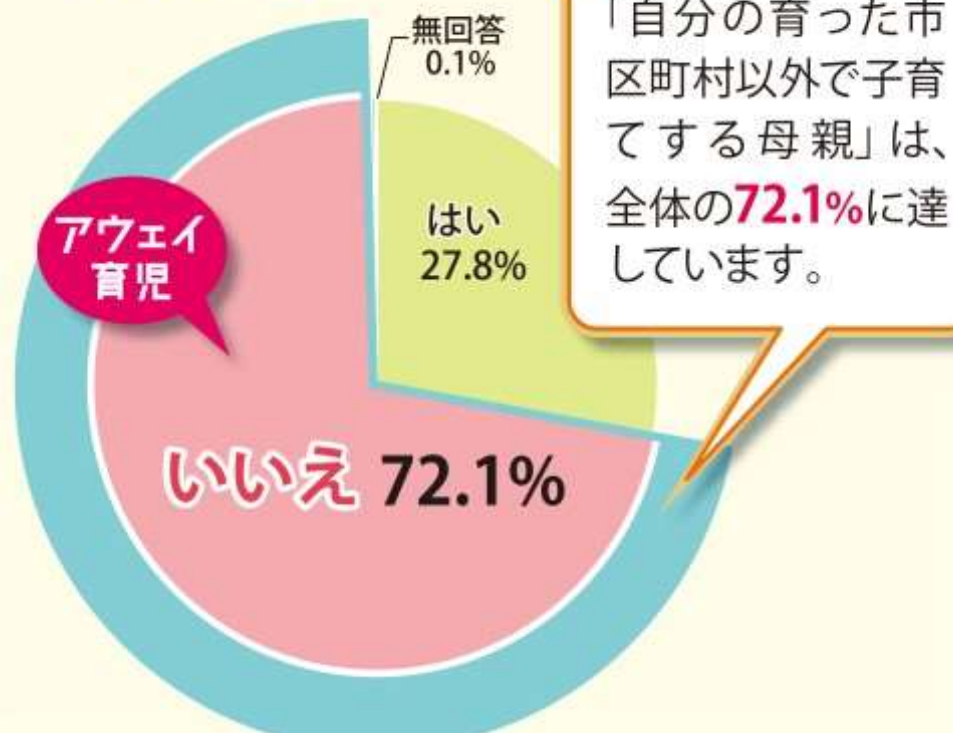
地域子育て支援拠点を  
利用する母親  
1,175人に聞きました!

自分の育った市区町村以外での子育て

「アウェイ育児」**72%**

「つながり」をつくり、アウェイをホームに変える  
地域子育て支援拠点には大きな力がありました!

Q. あなたが育った市区町村で、現在子育てを  
していますか?



特に産前産後は  
どこにも所属が  
ないこともあって、  
孤立しがち。

「地域子育て支援拠点に関する  
アンケート調査2015・2016」  
NPO法人子育てひろば全国連絡  
協議会

# 世田谷区おでかけひろば (地域子育て支援拠点事業)

あたたかく迎え入れる。

ハレとケがあるとしたら「ケ」の日常を紡ぎだす



子どもにとって多様な人たちとの関わりと安心の場所

コロナ禍で休止中も電話やメール、はがき、公園巡回などでケア。入場人数を減らして運営。→身近な地域にたくさんあることが大事



水平対等な関係  
保護者？ボランティア？  
スタッフ？  
循環型の支援

# ハッピーセパレーション (拠点で行う理由を問わない一時預かり)



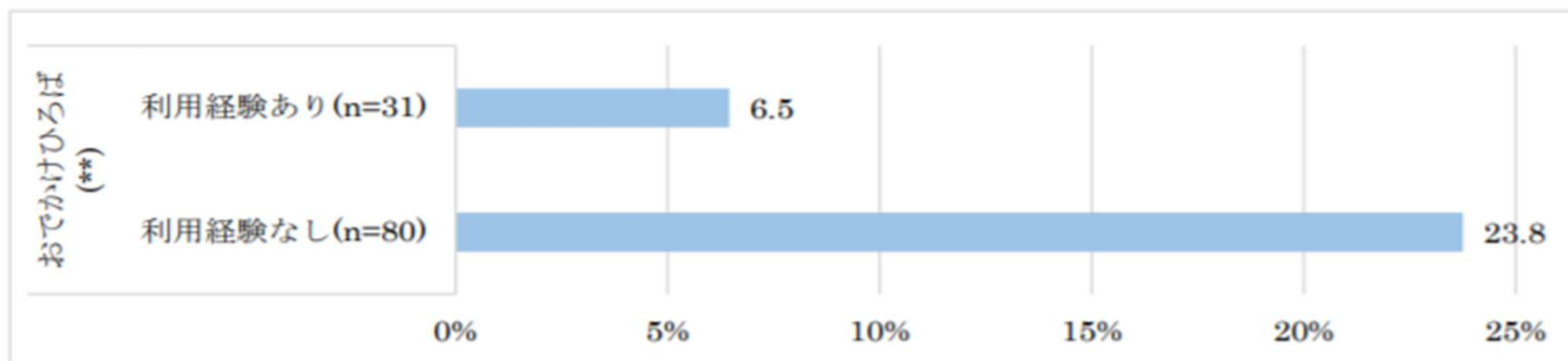
自身が見えていないニーズ  
「子どもといるのがしんどい」  
「ちょっと休みたい」  
実家のように  
「いつでも、安心して」  
「三枚のおふだ」として

**子どもの最大の環境は保護者**  
→当事者がしてほしいことを入り口  
につながいをつくる

「満たされた」気持ちになるまで根気よく。「足りなさ」は人それぞれ  
「ごめんね」から「いい時間をありがとう」へ  
一時保育というサービスではなく、**コンセプトを伝える。**

# 困ってからつながりをつくるのではなく、 日常でつながっている必要性

図表 5-1-4-12 困ったときに相談できる相手がいない保護者の割合(小学5年生・中学生2年生合体、「生活困難層×ひとり親」のみ):子育て支援サービスの利用状況別



\*「生活困難層×ひとり親」のみ集計。

\*統計的に有意な差があるもののみ作表。

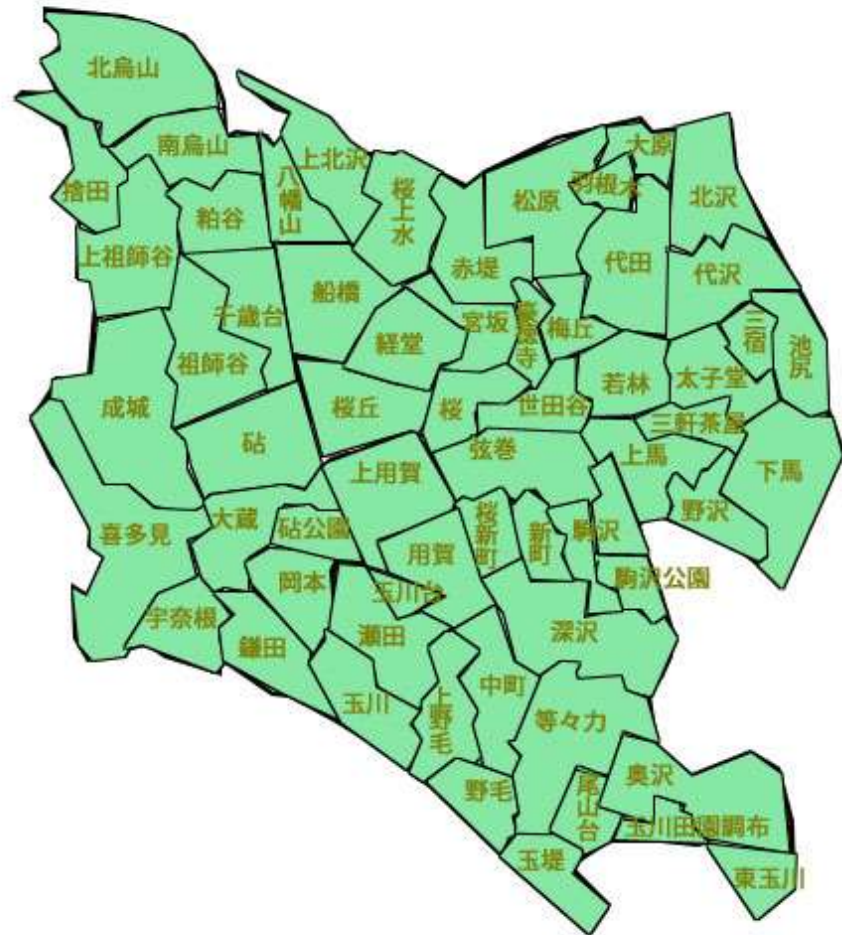
私的な人間関係ではなく、公的機関への子どもに関する相談の経験の有無についても子育て支援サービスの利用経験の有無による違いがあるかどうか見たところ、すべての支援サービスにおいて利用経験のない保護者のほうが、公的機関への相談経験のない者の割合が有意に高かった(図表 5-1-4-13)。特に、「おでかけひろば」を利用したことのない保護者においてその割合が最も高く、54.4%にのぼる。

# 虐待“予防”をどうとらえるか

- 早期発見・再発防止
    - 要保護児童対策地域協議会のあり方
    - 9割以上は「在宅支援」だからこそ、  
地域のネットワーク(面)で受け止める体制づくり
  - 発生予防
    - 地域の子育て支援「起こらないことを、おこす」
    - 数値化されにくい「予防」に力をいれられるか。  
自治体次第になっている
- アウトリーチ・ピアサポートは拠点あってこそ展開できる。

# たとえば！東京都世田谷区 人口92万人 出生数:約7000人/年

虐待の発生予防と  
「在宅家庭」のフォロー  
それを支えるための  
インフォーマルな支援  
メニューの開発  
それぞれの地区ごと  
におせっかいな世話役が  
必要



# 世田谷区地域子育て支援コーディネーター (利用者支援事業基本型・子育て世代包括支援センター)

★予防的に関わる（拠点で会える）

軽微なことでも相談し慣れてもらう

「場」で支え「環境」を日常的に見せること

課題を切り取ると辺境化する

くありのままに地域で包摂される

★なかったらつくる！

小さな、パーソナルなものから。

資源の開発は当事者参画で。

★ありがたいのシーンを増やす

地域でありがたいと言える場をつくりだす。

支援する/される関係からの脱出



**相談窓口**  
無料

ひろば型 地域子育て支援コーディネーター  
のいるところ

|   |               |
|---|---------------|
| 【世田谷地域】<br>古民家 mamas@世田谷1丁目 (世田谷1-11-18)                    | 070-2150-5543 |
| 【北沢地域】<br>おでかけひろば @あみーご (松原4-2-18)                          | 070-6969-3562 |
| 【玉川地域】<br>おでかけひろば まーぶる (瀬田2-25-10)                          | 070-3356-3939 |
| 【砧地域】<br>おでかけひろば きぬたまの家 (鎌田1-19-1-101)                      | 070-1314-2452 |
| 【烏山地域】<br>おでかけひろば ぶりっじ @roka<br>(南烏山2-30-11 UR戸花公園団地11号楼1階) | 070-6478-8895 |

世田谷区 子ども・若者部 子ども家庭課

**世田谷区地域子育て支援コーディネーター**

妊娠中から乳幼児のいる家庭の子育て相談

なんだかモヤモヤする… 子育て、てんてこまい! どうしたらいい?

どんなことでも大丈夫。まずはお電話・メールをください!


■中間支援センター：宮坂2-21-1 Nハウス経営 (全地域の窓口)  
電話 070-5011-5270 (月曜～金曜 10時～15時)

■メールでの相談  
shien@setagaya-kosodate.net

QRコード(メールアドレス)

# 産後のおうちにご飯をつくりに

- 妊娠中に作戦会議。赤ちゃんはどう過ごすか、間取りから考えてみる
- 生まれました、と「地域」に帰ってきてね。待ってるよ。
- おめでとう！と、近所の人ですぐにきてくれる。
- 正しさ、ではなく、いい塩梅を一緒にみつけよう。
- 朝ごはんの片付けからやるからおいておいてね。
- 洗濯物も干しとくよ
- 着替えもパジャマで、産後を大事に過ごしてね
- 具だくさんのあたたかい味噌汁
- サービスではなくてピアサポート
- 赤ちゃんの声をききながらつくっていく「暮らし」
- 地域にひらかれた家族



プロテクト  
要因になろう

あったらいいな、はこんなにもシンプルでつつましいことですが  
気持ちよく手助けすることも、受け取ることも、  
とてもむずかしい世の中になっています。



# 赤ちゃんとのふれあい体験授業

初めての子どもが生まれる前に赤ちゃんの世話をしたことのない親が4人のうち3人(横浜市・2013年)

子育てする人生を選んだ人との出会い  
今日赤ちゃんに関わったことも「子育て」なんだよ  
みんな地域で祝福されて育つ

子育て中の親が地域での役割を果たす。  
「ティーンエイジャーに体験を  
プレゼント」  
「自分の子どもだけを育てるのではなく、  
地域の子どもにとっての大人になる」  
「育てられる者から育てる者へ」

**未来志向で、循環を生み出す**



# 学校と乳幼児に関わる人たちが 活動を通じてつながる ⇒子どもを様々な立場と視点から支える

学校で子どもたちと赤ちゃんがふれあう体験活動

## 赤ちゃんを連れて 学校へ行こう!

赤ちゃんも私も  
たくさんの人と  
ふれあえて刺激  
になった。

子育てって  
楽しい時も  
大変な時も  
あるんだ。

赤ちゃんって  
あったかくて  
ふわふわ。

子育てしやすい  
地域にしていき  
たいな。

**赤ちゃん親子ボランティア・サポートボランティア大募集!!!**

世田谷区内の中学校等で、学校の子  
どもたちと赤ちゃんがふれあう体験活動を実施  
しています。  
ご興味のある方は、ぜひ実施団体までお  
気軽にお問い合わせください。➡

実施団体の連絡先はこちら



(世田谷区ホームページ)  
http://www.city.setagaya.jp/info/kodomo/007/002/000187678.html

お問い合わせ先 世田谷区子ども・若者子ども家庭課  
電話 03-5432-2569 FAX 03-5432-3081

ボランティアの参加については、  
直接実施団体へ。

令和2年9月発行

赤ちゃんを連れて学校へ行こう!  
～赤ちゃん体験年間協力家庭の募集～

自分の子育てが始まる前に、赤ちゃんのお世話をしたことがなかった、  
というお父さんお母さんが、約75パーセントにもなるそうです。  
赤ちゃん親子とふれあう体験と、子育てのお話がきけるチャンスを、  
ティーンエージャーにプレゼントしませんか?  
一年を通じて、協力してくださる親子ボランティアを大募集します!!

【現在募集中の活動】


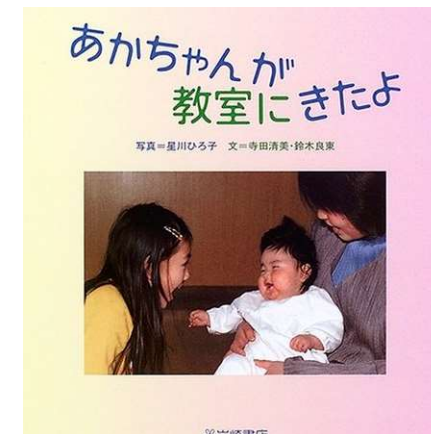
- 世田谷区立奥沢中学校（世田谷区奥沢 1-42-1）  
11月30日（火）11:45～12:35 ※1クラス 【集合】11:15
- 世田谷区立富士中学校（世田谷区代沢 1-23-17）  
12月8日（水）11:45～12:35 ※1クラス 【集合】11:15  
12月9日（木）10:45～12:35 ※2クラス 【集合】10:15

対象 おおむね1歳までのお子さんと保護者の方（定員6組）

★新型コロナウイルス感染拡大防止のため、参加者の検温、換気、消毒などを徹底して  
実施いたします。  
★新型コロナウイルスの影響で、授業が急遽延期または中止となる場合があります。  
★当日は活動の様子をカメラ撮影させていただき、活動の普及のための資料や報告に  
掲載させていただく予定です。撮影を遠慮される方はその旨お伝えください。

【お申し込み】  
NPO 法人せたがや子育てネットのサイトからフォームにてエントリーしてください。  
（QRコードから、フォームにリンクします。）

【お問い合わせ】  
NPO 法人せたがや子育てネット 事務局  
info@setagaya-kosoclate.net  
03-6796-3939

地域子育て支援拠点にきて  
いた赤ちゃんが中学生に  
なって授業を受ける。  
フードパントリーで会ってい  
る子と学校でも会える

# どんなシーンがつかいだせるか？ 「パパが帰ってくる11時まで、ワンオペなんです」



月に1度の夕食会「ろかめし」  
「お米欲しいな」で、80キロ集まった♪  
仕事帰りのシングルマザー、ぶりっじを卒業したこどもたち、急いで仕事切り上げてくるお父さん、団地の一人暮らしの高齢の方、施設で働く若手職員、落研の学生も…



# 防災 × コミュニティ

地域防災ははじめの一歩  
～美味しい炊き出し体験～

日時：3月3日(土曜日) ※雨天中止  
10:00～13:00  
場所：UR芦花公園団地12号棟前広場  
〒157-0062 世田谷区南烏山2-30


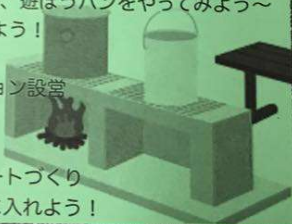
ぶりっじ前の庭にある「かまどベンチ」を使って、親子で楽しく防災体験してみませんか？地域の方々と顔見知りになりましょう！

- 「かまどベンチ」で火おこし体験  
～焼き芋、焼きリンゴ、遊ぼうパンをやってみよう～
- 簡単テントをたててみよう！
- 七輪で焼きマシュマロ
- エネポで充電ステーション設置
- 水消火器的当て
- からびょん塗り絵
- 災害ビスケットでデザートづくり
- すいとんを作って豚汁に入れよう！

お土産に、からびょんグッズと災害ビスケットがもらえるよ！！からびょんに会いに来てね！！

《お問い合わせ》  
おでかけひろばぶりっじ@roka 03-3309-8115  
烏山総合支所地域振興課 03-3326-9249

協力団体 UR都市機構 芦花公園団地自治会 第二いちさ保育園  
烏山地域の力を集める会 せたがや防災NPOアクション NPO法人せたがや子育てネット



- ★「地域の防災訓練には若い世代がなかなか参加しない」
- ★団地の自治会は高齢化していて、新しいことは生み出せない
- ★昼間は出かけていて、夜帰ってくるだけ。顔見知りがない

→地区防災事業を、子育て世代と繋がる団体が運営することで  
多世代で体験するプログラムに。

**地域に顔見知りを増やす**

# プロジェクトで地域を変える

腱鞘炎にならない「抱っこ」  
家事ができる「おんぶ」  
次の世代に伝えるのは誰？  
いつの時代も当事者たち。  
ミクロに。ていねいに。



げんこつやまのためきさん  
おっばいので 抱っこして  
ねんねして おんぶして  
また明日

げんこつやまプロジェクト

たかが抱っこ されど抱っこ  
GENKOTSU  
げんこつやまプロジェクト  
YAMA  
Project

「子どものいる暮らし」のスタートに大切なことは「げんこつやまのためきさん」の中にありました。  
おっばいのでねんねして、赤ちゃんが泣いたら抱っこしておんぶする…  
そして「また明日ね」って声をかけ合えるコミュニティと繋がっていくこと。  
「げんこつやまプロジェクト」は親子の関係づくりや、地域の子育て支援のお手伝いをします！

みなさまからの感想

**わたしたちのプロジェクト**  
抱っこが変わると子育てが変わる！？  
見て聞いて触って感じていく時間

⇒ For 親子  
抱っことおんぶの練習会  
講座・イベント  
● 60～120分

⇒ For 支援者  
支援者保育者むけの研修や  
コンサルテーション  
● 60～120分

午前・午後で両方を組み合わせる  
プランもおススメです。  
その他リクエスト（困りごと）もお  
気軽にお問合せください！

→ 《テーマ案》  
地域に開かれた子育て支援  
保護者会と職員研修をセットで！

**ママ**  
赤ちゃんが軽く感じられて、目から  
ウロコでした。いっぱい抱っこして、  
おんぶもしてみようと思います。

心からママになった  
ような気がして泣き  
そうになりました。

赤ちゃんが自分に抱き  
ついてくる感じがあって、  
可愛くて嬉しくなった！

抱っこ・おんぶだけではなく、子ど  
もとの接し方やセルフケア等も知る  
ことができて、とても良かった。

**パパ**  
大変勉強になった。自分ができると  
に取り組んでいこうと思った。

**支援者**  
大変勉強になりました。タッチの仕  
方、子どもやママへの声かけ、関わ  
り方のコツが分かってきました。

面白かったので、地域のお母さん  
たちにも伝えたいと思います。

リュック式のおんぶの仕方に興味  
があり、目の前で見て、すぐやっ  
てみるのができてよかったです。

内部研修で、若手保育士におんぶを知って欲  
しいと考えていましたが、ベテラン保育士も  
「目からうるこ！」な内容でした。子どもの  
身体に沿ったおんぶの大切さを知りました。

抱っこしておんぶしてまた明日♪

# 他の省庁とも力強く連携して「育てづらさ」を解消してほしい！



例：国交省が立ち上げた協議会  
 ○ベビーカー利用を制限するルールや、禁止マークの普及が目的ではないことを都度確認、合意形成した。  
 ○文章の表現、登場するシーン等にも細かくチェック！  
 折りたたまずにのせること「も」  
 ⇒折りたたまずにのせること「が」  
**ミクロとマクロをつなぐ**



# せたがやこどもフードパントリー

2020年4月14日から始まった「せたがやこどもフードパントリー」。多くの個人・団体・企業などからのご協力をえて、2021年10月26日までに、89日間228回の活動を通じて、のべ17000食以上を提供。妊娠中・未就学から高校生世代まで約230家庭430人の子どもたちが利用。現在は月2回土曜日の夕方に開催



# 活動内容

## せたがやこどもフードパントリーとは？

- 新型コロナウイルスの影響で、収入減・家計が厳しくなり、生活が困窮している家庭の子ども（高校生世代以下）を対象に、お弁当やレトルト食品、果物などを配布する活動を開始。
- **生活が困窮している家庭とは？**
- 日本では約7人に1人の子どもが、その社会のほとんどの人が当たり前のもの、普通のこととしている生活ができない状態にある、「相対的貧困」
- 世田谷区でも、約10人に1人の子どもが生活困難層（低所得・家計の逼迫・経済的な理由による子どもの体験や所有物の欠如のいずれか1つ以上に該当）
- **コロナ禍で**
- 新型コロナウイルスの影響で困窮家庭がより深刻に、新たに生活困窮家庭が増加  
イベントや外出の自粛要請のために、失業したり、出勤制限で収入が減っている  
休校のため仕事を休んだり、勤務時間を短くせざるをえない  
休校で給食がないため、食費をはじめ生活費がよりかかる  
アルバイトで学費や家計を支えていた高校生世代の子どもも、失業・収入減

**子どもの貧困は、単にお金がないということだけでなく、様々な形で子どもの成長に影響を及ぼしますが、生活に困窮する子どもや保護者の姿は見えにくいという課題があります**



## 利用者の声

- コロナの影響で食費はかさむが、収入はがた落ちです。ただ、ただ、もう助かります。ありがとうございます。
- 子どもが美味しいと言いながら笑顔で食べてました。お菓子や果物は買えないので、デザートだ！おやつもある、と喜んだ顔を見れて良かったです。本当にありがとうございました。
- 意外に多くの方が利用していらして、ハードルは高くないんだなと。支援を受けたければ、受けていいんだなという印象を持ちました。食料があるというのは安心感に直結します。

## ◆子どもの育ちを支える情報をタイムリーにわかりやすく◆

「情報の提供は生きる力になる。」

「知らなかった情報だったので、非常に助かった。」

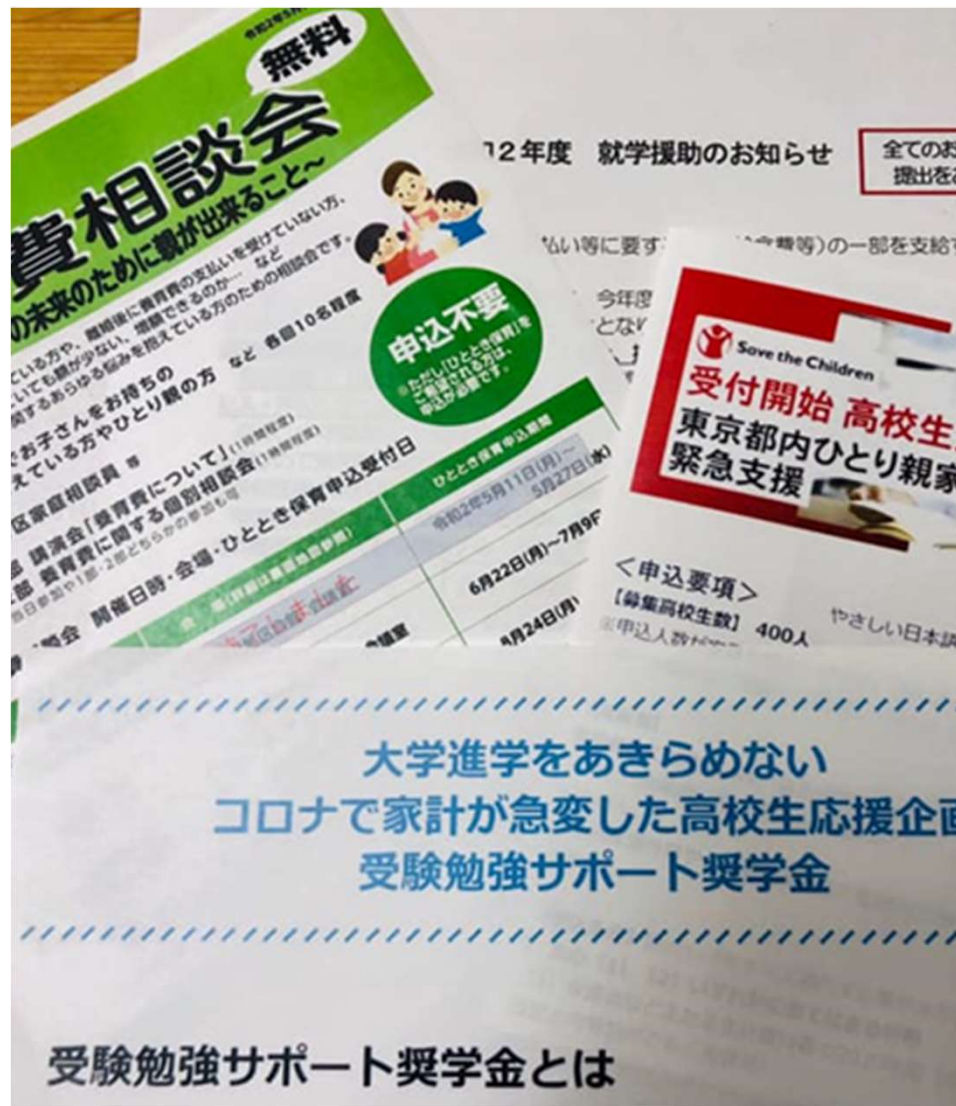
これは、生活困窮世帯やひとり親家庭が利用できる支援サービスを案内した際に届いた保護者の声。

せたがやこどもフードパントリーでは、子どもの食を支えるだけでなく、子どもや保護者が必要な支援につながるができるよう、官民の様々な支援サービスに関する情報を提供しています。

世田谷区が2018年に実施した調査結果では、ひとり親世帯や生活困窮世帯ほど、ニーズがありながらも支援サービスの利用につながらない傾向にあることが明らかになっています。

実際に保護者からは「助成やサポートに関する情報入手をすることに、自分だけでは限界がある」との声も。

(せたがやこどもフードパントリーFBより)



## フードパントリーの実践を通して感じたこと

当初、食の支援は「対処療法」的なものだと考えていて、地域子育て支援拠点事業の活動とは結びつけて考えられなかった。しかし、「子育てのはじめの一步を支えている拠点」だからこそ、**日常の地域のつながりを生かし、孤立を防ぎ、しかるべき支援につなぐことができる「予防」になり得るとわかった。**

コロナ禍においては、ひろば併設の地域子育て支援コーディネーター(利用者支援事業基本型)が子育て世代包括支援センターに位置づけられていたことも、**関係機関との連携において、大きな支え**になった。

地域の中での関係性は、困った時だけで繋がっているわけではないから**「お互いさまの関係」**を作りつつ、**そのままの姿で包摂されやすい**と感じる。

「この土地でなんとか子どもと暮らしていけそうだ」と思えるように。そんな空気を作れるのが地域のネットワークの力。

# 一か所で全部背負わない家庭支援

**困り感への気づき** (その違和感はあながち間違っていない)

小さなひっかかりやしんどさなど、かけらを集める。粗探しではなく。

↓声かけ・傾聴

語られたことを全部その組織で引き受けなくてもいい!

指導と助言の前に聴いてくれる、「こどもとの暮らし」に関心をむけてくれる人  
ながくほそく繋がり続けることが大事

↓「**予防的つなぎ**」 **パートナーを見つけよう**

例: **地域子育て支援コーディネーター(利用者支援基本型)**

コーディネーターが地域にアウトリーチ、  
もしくは紹介で当事者がメールや電話などでアクセス。  
その後同行支援、面談等

↓

**地域資源の紹介・行政・関係機関へのつなぎ**

↓

**その人に身近な場所は変わらず応援団**でいてくれること  
(ここの信頼関係を守る)

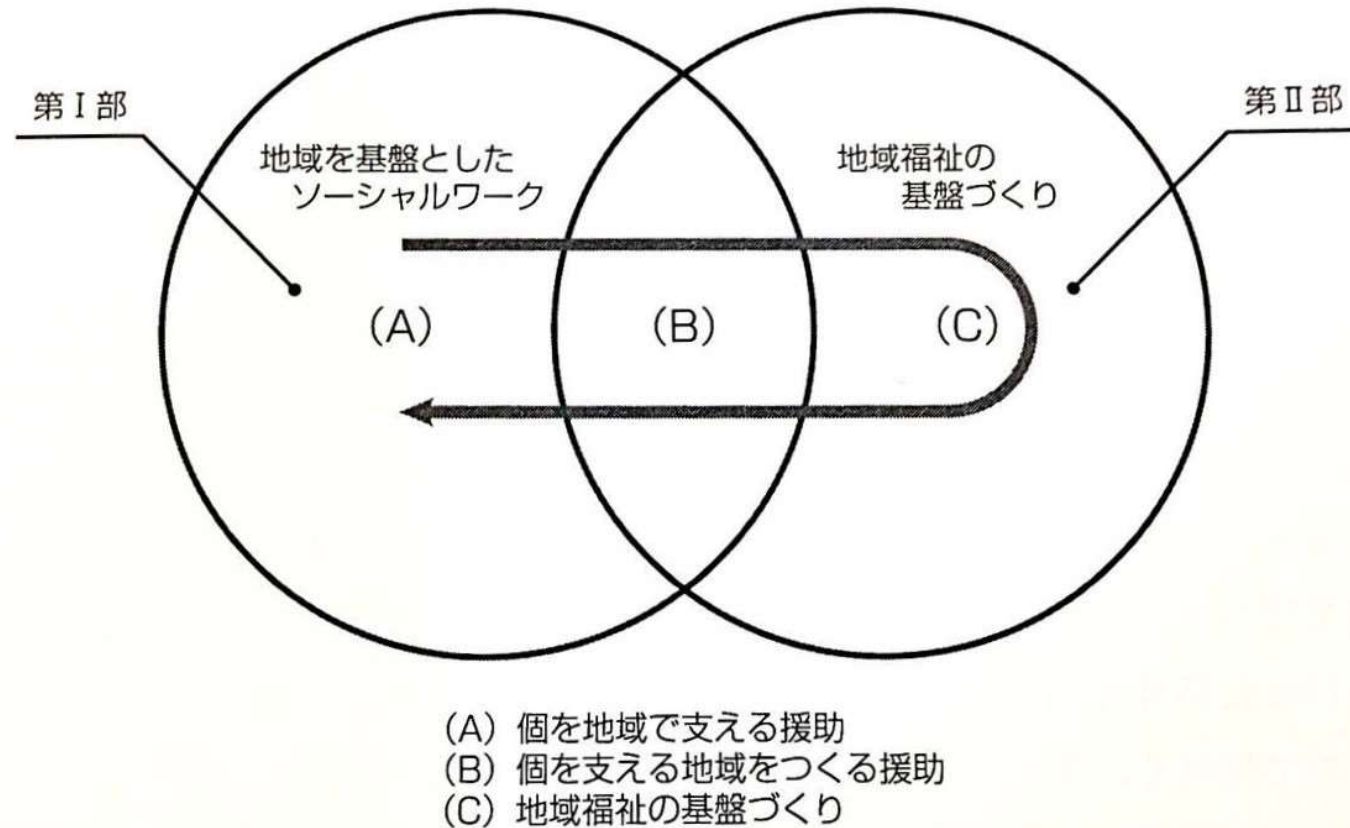


# まちの居場所の「キモ」は 中間支援機能

- **ぶりっじ機能**  
誰かと誰かをつなぐ  
ナニカとナニカをつなぐ
- **アジト機能**  
自分をわかってくれる仲間  
ナニカをたくらむ
- **トランポリン機能**  
うっかりおっこちても、受け止めてくれる  
跳ね上げてくれ、しかるべきところへ戻れる

# 個と地域の一体的な支援

図0-2 「地域を基盤としたソーシャルワーク」と「地域福祉の基盤づくり」の位置づけ



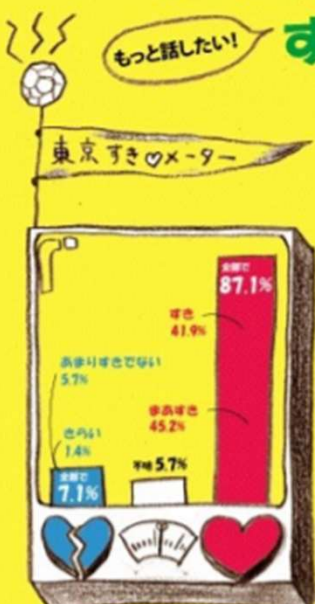
「地域福祉援助をつかむ」岩間伸之・原田正樹 著 有斐閣2012 より

# Q1. 東京は、

好き?

# "TOKYO PLAY" がきいた! みんなの声

# Q2. どんな大人に なりたい? なりたくない?



**好き!**  
理由

**ひと** 学校が楽しい! 先生がやさしい  
友だちがいる、地域の人がやさしい

**まち** 芸能人・有名人がいる、都会だけど自然がある (10才)  
大きな公園や児童館がある、買い物便利、日本の中心

**きらい**  
理由

**ひと** どうせ、発言しても意味がない (11才)  
大人に話を聞いてもらえない、悪い通りにならないとキレる  
女子高生だというだけでナメられる (18才)  
私立なので地元で友だちが少ない (14才)、いじめがある  
自分の意志より世間の目  
大人が自分の意見を押しつける

**まち** 小さい子が優先なのはわかるけど、ボール遊びをできる公園がない (13才)  
公園に行っても、たばこを吸っているサラリーマンばかり  
トイレがきたない、人ごみが多い、うるさい、川や空気が、水がきたない  
中高生が居場所にできるのは、お金がかかる場所しかない! (16才)



「東京好きメーター」では「好き」という答えが多かったけれど、「好き」も「きらい」もたくさん理由が出たよ。「きらい」の理由が多かったのは、「大人のマナーが悪い」と「大人が話を聞いてくれない」という声でした。たくさんの子供たちが大人とのやりとりで悩んでいるということも分かりました。

東京都内の41か所で、9~18才の279人に聞きました!!



なりたくない大人

なりたい大人



ホームレスって、なりたくてなっているわけじゃないってさ!



自分たちがホームレスをみるたびに考えてしまったり、勇気が自分たちを勇気づけてくれたりのことってないかい?



大人になることへの不安や夢、希望、決意も、たくさんきました。「今の自分ができていやること」を大人にならしたくないという声も多かったです。「テレビや雑誌で知ったこと」「まちで見たこと」から考えたことや感じたことももちろん、「ステキな仲間や大人との出会い」もたくさんありました。みんな、自分たちの「まち」やまわりの大人のことをよく見ているよね。

# Q3. どんな東京にしたい?



デザイン: 加藤美子 (くるみ)

## こんな方法で聴きました

このヒアリングは、2011年1月～3月に都内41か所で行いました。対象は、9才(9～4年級)～18才の279人の子どもたちでした。1グループは、4～8人、時間は最大2時間、大人のファシリテーター(1人)と記録係(1人)が、子どもたちとテーブルを囲み、機嫌よく話したことや考えたことを聴いていきました。話しやすい雰囲気ができるように、飲み物とお菓子も用意しました。



ヒアリングは都内41か所で行いました。

## ヒアリングを終えて

いきなり現れた大人に、子どもたちがいきなり本音を話してくれるのは嬉しいだろうと考えていました。そのため、専門委員の先生たちからも、学校の授業時間でもある45分以上のヒアリングは無理かもしれないと言われていました。そこで、私たちは「建設的な意見」を求めないようにし、ヒアリングに参加してくれた子どもたちには、とにかく、「何でも言ってもいいよ」と伝えることを大切にしました。「本当に何でも言っても大丈夫そうだ」と思ってもらえると、ヒアリングの雰囲気が格段によくなりました。

そのような時には、ヒアリングが2時間になろうとしている時にも、「もっと話したい」という声を聴くことができました。

今回のヒアリングでは、子どもたちほろりん、東京都内の児童館、学習室、児童館、児童館、子ども劇場、サッカーチーム、中高生の白土グループ、看護学院、グループホーム、児童館など、様々な場所で大人の方たちにもご協力いただきました。

本当にありがとうございました。

## 子どもたちの感想

- ◆家で「東京いやだ!」とか言っても、どうせかなわなかったと思ってたけど、今日言えて良かった。(11才・♥)
- ◆ふだんおもてることがたくさんあって楽しかった みんな意見がたくさんきけた またやりたい。(10才・♥)
- ◆言えなかったこと、モンスターペアレントにはなりたくない、東京都は好きです。行動範囲は狭いですが、ゴミが多いと思う。ゴミ箱をいろいろなところにおけばいいと思います。(16才・♥)
- ◆不良の気持ちがわかる先生がいるといい、不良の話をもっと聞いてほしい。(16才・♥)
- ◆楽しかった!話しやすい雰囲気だったし、もっともっと色々なところで、色々な子どもたちにやってほしい。できればここで出た意見を社会に役立ててほしい。(18才・♥)
- ◆今日は自分で思っていることを言えてすっきりしてとても楽しかった。(11才・♥)
- ◆いままでかえってなかったことをかえってむずかしかった。(10才・♥)
- ◆色々な意見を聞いて良かった。自分の意見を言えて、いままでない経験だった。(17才・♥)
- ◆とても考えさせられました。いま思うことは、ちょくせついい(東京)にいて、はなしたい。(13才・♥)
- ◆大人とか子どもとかかわからないけど、いつまでも正義に生きてい。(17才・♥)
- ◆ちゃんとこの出したあんなをどけてください。(12才・♥)
- ◆本音を聞いてくれる人が今までいなかったから(親でも)けっこう大変だったけど、本音が言えた!!(12才・♥)

♥---女子  
♥---男子

## TOKYO PLAYから大人のみなさんへ

ヒアリングを通して、  
子どもたちの話から  
感じたことがあります。

- 「大人は話を聴いてくれている」と感じる経験が少ない
- モデルとして共感できる大人との出会いが少ない
- 「どうせ、何を言ってもかわからない」と考えている子どもが多い

ヒアリング後の感想にあった「すっきりした」「もっとやりたい」という声からも分かるように、子どもたちは好きなように話すことで、新しい考えを思いついたり、友だちの考えを知ったりすることがうれしかったようです。私たちがどこまでできたかは分かりませんが、今回の調査で分かったのは、「子どもたちの声に耳を傾けること自体が、子どもたちのエンパワーメントになる」ということでした。その一方で残念だったのは、生活の中で大人との出会いについて、共感的な出会いよりも反面的な出会いをしている子どもたちも多く見られたことでした。将来的には、子どもたちと接する機会が多い大人たちの「聴く力」を育てていく仕組みも必要とされているのではないのでしょうか。

## TOKYO PLAYからの提言です

子どもたちは、生活の中で「まち」のことや大人のことをよく観察しています。そこから生まれてくる声は、今の子どもたちを取り巻く私たちの社会への意見です。「自分の声は社会にとって意味がある」と子どもたちが感じられる東京をつくりませんか?

1. 子どもの声を聴く機会を日常的・継続的に作りましょう。
2. 共感しながら子どもの声を聴くことができる大人を増やしましょう。
3. 子どもの声をたくさん大人の大人に伝え、社会に反映していきましょう。

◆次世代育成支援東京行動計画(後期)の評価に係る事業の報告書は、TOKYO PLAYのホームページ、又は以下のリンクからダウンロードできます。  
<http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/kodomo/kasei/koujikeikaku/tyousa.html>

◆子どもたちからのグループ・ヒアリングについて関心のある方は、ぜひTOKYO PLAYまでご連絡ください。  
TOKYO PLAY公式サイト: <http://tokyoplay.jp/> Facebook: <https://www.facebook.com/TOKYOPLAY>

## TOKYO PLAYから子どものみなさんへ

自分たちの声をもっとたくさんの人たちに届けてみませんか?  
自分たちの話を聞いてくれる大人の人たちは身の回りにいますか?そんな大人の人たちに協力してもらいながら、たくさんの人たちに伝える企画をつくってみませんか?必要なことがあったら、TOKYO PLAYも協力します。  
みなさんの連絡を待っています!

連絡先 [info@tokyoplay.jp](mailto:info@tokyoplay.jp)にメールをください。

ボクたちどいっしょに  
考えよう!



## 専門委員会のみなさん

この事業では、専門委員会を設置し、この分野での6名の専門家の方に協力いただきました。

委員長 若女 美穂氏 滋賀大学社会福祉学部教授・共同研究員 東京大学社会学部教授・副 健氏(大妻女子大学社会学部児童学専攻教授)  
委員 芳村氏 早稲田大学非常勤講師・共同研究員 10歳子どもグループ代表 栗田 貴博氏/プレイソーシャルワーカー、東京大学

© 東京 Play 2011年11月15日

## TOKYO PLAYとは...

「すべての子どもが豊かに遊べる東京」をめざして、2010年に設立されました。子どもの「遊ぶ」をテーマにしたプロジェクトを展開しています。



1. 公園の看板について考える「やめ・やめプロジェクト」
2. 子どもの遊びは大切! 10,000人アンケート
3. 遊ぶことの大切さを考えるキャンペーン「とうきょうプレイヤー」  
コンテンツで「Playto」(2011年)の開催です。
4. イギリス・ロンドンにある「London Play」は経団連体

## 「次世代育成支援東京行動計画」

平成15年に政府が定めた次世代育成支援対策推進法に基づき、特定事業主が定めることを義務付けられた行動計画として東京都が策定したものです。平成17年4月1日から平成27年3月31日までの10年の期限立法として、次世代を担う子どもたちが健やかに生まれ、かつ育成される社会を目指すことを目的としています。前期5年で見直しを行い、後期5年で計画されます。今回のヒアリングは、「次世代育成支援東京行動計画(後期)」の評価に子どもの視点を活かすための事業調査として実施されました。調査の一環として、「子育てひろば」を利用する保護者100人についても、事業調査が実施されています。



© 東京 Play 2011年11月15日